

## 令和5年度 第2回 やさしい未来都市会議 議事要旨

日 時： 令和6年1月18日(木) 午後3時～午後5時

場 所： ミライクリエ2階 大会議室

議 題： 次世代学園都市の実現に向けて

出席者： 別添名簿のとおり

### 1 事務局説明

- ・本市のこれまでの歩み、近年の取組み状況、今後の取組み方針、訪米視察での学びについて説明

### 2 意見交換の内容(要旨)

高垣市長	<p>次世代学園都市構想は2050年を目標としている。本日の出席者におかれては、それぞれの立場から2050年の姿をどう描き、現状とのギャップをどう埋めていくかという議論がこれから必要になってくる。本日は、そうした認識を持ってもらいつつ、意見交換をしたい。</p> <p>一般の訪米視察において、アリゾナ州立大学では、チャーターという憲法のようなものが定めてあり、それは「人類にどう大学が貢献していくか」というもので、その高尚な理念に色々な人・企業が集まっている状況があった。</p> <p>越智学長から、本取組みをどういった形で展開していこうとされているのか、お話頂きたい。</p>
広島大学 越智学長	<p>アリゾナ州立大学とテンピ市の取組みについて感じたことは、利益を通して東広島市、あるいは日本、そして世界に、どう還元するか、といった、大学、市、企業など、あらゆるステークホルダーが、それぞれ同じ方向を向くための高尚な目標を掲げることが重要ということだ。</p> <p>大学は各地域でシンクタンクの役割もしており、自治体と一緒に地域課題を解決することができる。</p>
高垣市長	<p>「人類への貢献」というと市の立場からすると遠く感じるが、人類共通の課題であるSDGsの達成は市の課題でもあり、市の課題を解決することが人類に貢献すると言える。広島大学との取組みもその延長線上であると認識している。</p> <p>そこでまずは医療・産業界から、本取組みをどう見ておられるのか、また、労働人口が減る中、本取組みにどのようなことを思っておられるか伺う。</p>
東広島 地区医師会 山田会長	<p>SDGsは2030年までの目標であるが、それ以降に提唱されているのがSWGs(Sustainable Well-being Goals)で、心の豊かさや幸福を重視する価値観が広く世界的に広まるものと期待されている。</p> <p>また、GDPに代わり、今後はGDW(Gross Domestic Well-being)という捉え方をしていくべきと考えている。</p> <p>こうした考え方は、本医師会でも中心にしていきたい。次世代学園都市についても、本医師会がどう連携していくことができるか検討していきたい。</p>
高垣市長	<p>我々の最終的な目標はやはりWell-beingであると考えている。</p> <p>次世代学園都市構想の「期待する将来像」は、Well-beingとSDGsとポジティブピースを大きな目標とし、高瀬さんが言われたSX(社会的変革)、社会に大きなインパクトを与えるようなトランスフォーメーションをやっているとしている。</p>
東広島 青年会議所	<p>Town&amp;Gown構想は本当に楽しい構想だと思っているが、地元の中小零細企業の方には、まだ浸透していない。もっと地元の企業が絡んでいけるようなものがあれば良いのでは。ま</p>

佐渡直前 理事長	た、青年会議所は子育て世代でもあるが、子育て世代へのメリットも意識しながら、市民にとってやさしい構想になればと思う。
高垣市長	確かに、市民や中小企業の方にとって、本取組みはあまり身近に感じられないところがあったと思うが、近畿大学工学部は中堅中小企業に対する技術支援を、広島国際大学は子育ても含めた健康や福祉の分野の学生を育成している。その意味で、包括的な形で大学との取組みができると思っている。
東広島 商工会議所 木原会頭	地域経済発展のために寄与するというのが商工会議所の理念であるが、本会議所は中小零細の集まりのため、大きな構想に乗っていきける企業がどの程度あるのかが気になる。やはり、ナンバーワン・オンリーワンの企業が出てこない、産業界としてのリーダーが出てこないため、大学の研究成果を民間にも展開し、新しい生産技術を身につけるようなことができたらい。 また、企業は利益が出ないと次のステップを踏めないものである。まず強い商品・製品を作り販売し、利益を生むことが必要であり、そのためにも、大学から優秀な人材を送り込んでほしい。 兵庫県の明石市は、非常に子育て環境がよいと言われているが、東広島市は子育ての面でどうなのか。充実した子育て環境があることで、若い人が定住し、良い環境ができるのでは。
高垣市長	企業にとっては利益が必要で、利益を出すためには、イノベーションを起こし、新しい製品や新しいビジネスの柱が必要、という中で大学との連携が必要となる。 地元企業と大学との連携により、これまで広島大学が取り組んでいないような分野でのTown&Gownに発展していくのだと思う。また、そこに企業、医療界、次世代を担う経営者が期待を持っていくという環境が必要だと思うが、荻原学部長から、これからの将来像も含めてご発言頂きたい。
近畿大学 工学部 荻原学部長	東広島市内の大学にはそれぞれ特徴がある。近畿大学は、東広島市のフィールドでということになると、規模的には広島大学さんの足元にも及ばないが、非常に小回りの効く機関になると思うので、例えば商工会議所や青年会議所のメンバーの方で、地元根付いた企業や市民グループと我々の知見をマッチングすることで、皆様のお役に立てるものと考えている。
高垣市長	清水学長からもお願いしたい。
広島国際大学 清水学長	広島国際大学は、健康、医療、福祉で活躍する専門職業人を養成することが1番の使命である。この健康、医療、福祉の分野は、ウェルビーイングを具現化するような職種である。その健康、医療、福祉の分野とは、企業活動、一次産業等に携わられる方が安心して働ける環境を整えていくことだと考えている。 また、全国的に人が足りない中、リタイアされた後も働ける環境を考え、健康寿命の延伸ということも我々の使命と考えている。 また、国力というのは、最終的には人の数になってくる。先ほど明石市の話が出たが、岡山県の真備町や広島県の廿日市市は、子育てにメリットを感じて若い人が集まってきているので、ぜひそうした環境を創ってほしい。 また、障がいを持たれた方の力を活用していく取組みを本学の教員も考えているので、また紹介したい。
高垣市長	我々がなぜTown&Gownの取組みを3大学に広げていくかという、大学がありながらも、地域課題を共有し、その解決に向けて共に歩むということがなかなか無く、その前提となるマッチングが上手くいっていないという問題があった。そこで、地元企業も経営者も日常的にやりとりできるインターフェイスとしてTown&Gown Officeを位置付け、進めようとしている。

	<p>次のテーマになるが、Town&amp;Gown は色々な分野で進めようとしているが、産業界や医療界などから、どのようなものを期待するかご発言頂き、大学のほうからそのお答えを頂きたい。</p>
<p>東広島 青年会議所 佐渡直前 理事長</p>	<p>学術研究とタイアップし、新しい価値やイノベーションが生まれることができればいいとは思いますが、日常業務の中ではなかなか余裕が無く、難しいのが現状である。</p>
<p>高垣市長</p>	<p>今の話を聞くと、各大学でどのような研究がされていて、それが自分たちのビジネスにどう結びつくか分からないという状況があるという事だと思う。</p> <p>本来 Town&amp;Gown Office はその窓口ではあるのだが、自社のメリットの部分までコーディネートする人・役割が必要なのかもしない。続いて山田会長はいかがか。</p>
<p>東広島 地区医師会 山田会長</p>	<p>例えば、Town&amp;Gown 構想の中で、マイクロンに対してどういった力を発揮できるか、という視点でものを考えると、同社が何を求めているかということに行き着く。求めているものは労働力なのか、技術なのか、開発に必要なリソースなのか、そこをリサーチされながらやられているのが気になるところである。</p>
<p>高垣市長</p>	<p>次世代学園都市構想は、マイクロンの大型投資という話が無い時期に策定したのだが、この投資は、本市において相当大きなインパクトであるがそれだけでなく、今回視察に行った都市には、必ず国際企業が立地し国際化が進み、大学との連携がなされ、自然豊かなところにイノベーターが集まってくるという姿があった。そうするとやはり国際的な企業を核としながら、構想をもう一度整理する必要があると考えている。</p> <p>また、大学が持つ研究資源は半導体だけではない。広島大学で言えば、ゲノムやヘルスケアなど様々な分野で最先端の研究もされている、そういうものをしっかりと入れた形の構想が必要である。</p> <p>そして、大型投資がなされるその受け皿としての都市をどう創っていくかも重要で、教育環境、生活環境、あるいは道路インフラといったものが入ってくる。また、次の 50 年に向けた第一歩を踏み出そうということで、今、組織的にもプロジェクトチームを造ってやっていこうとしているところである。</p> <p>本日もう一つ議論したいテーマは、国際化である。大型投資の次に半導体の高度人材をどう育てていくかも大きな課題であり、これは今、広島大学にも取り組んで頂いている。そうした人材は、おそらくアジアなど海外からの優秀な方や留学生になる。そうすると、次世代学園都市構想の中に「国際化」ということを念頭においたまちづくりが必要になると思っている。</p> <p>この辺りについて越智先生から少しお話頂きたい。</p>
<p>広島大学 越智学長</p>	<p>国際化の話の前に、先程、中小企業の方が大学の研究にどのようにアクセスしたらよいかという話があったが、「好きじゃけんコンソーシアム」という組織がある。相談を投げかけて頂くと、その専門の先生を紹介してもらえようになっているので活用頂きたい。また、そうした先生とのコミュニケーションを密に取って頂き、シーズを把握することで、自社のビジネスに使える新しいアイデアが出てくるかもしれない。</p> <p>国際化については、非常に重要なことである。マイクロンの大規模投資は、恐らくそれだけに留まらず、その周辺に様々な関連企業が集積し、これは東広島市の大きな歴史的転換点を迎えるものと思っている。リサーチャーや起業家など海外から多くの人が集まってくると思うが、その時に課題となるのが、教育や住環境である。</p> <p>そうするとインターナショナルスクールはマストである。東広島市にインターナショナルスクール</p>

	<p>がなければ、そのような方々は広島市に住むか、夫だけ広島に住み家族は神戸に住む、今のよう な状況が起こる。できるだけ早くインターナショナルスクールができ、相談があった時に「あります よ」とすぐに答えられるような準備をしておくことが非常に重要である。</p> <p>住居環については、ある地域に、海外から来られた方が「ここに住みたい」と思うような環境・ コミュニティを形成する必要がある。具体には、海外の人（もちろん日本人も入っていいのだが） が何不自由なくコミュニケーションが取れて情報が得られ、買い物ができるようなエリア・コミュ ニティをイメージしている。そうしたエリアがない限りはここに住んでくれないと思う。</p> <p>それとやはり車がなくても広島市等に出て行けるような交通環境が整っていることも必要であ る。</p> <p>こうした環境の整備を、ぜひ東広島市、行政において、大型投資を先取りした形で進めて頂き たい。</p>
高垣市長	<p>我が市には 8,700 人の外国人市民がおり、人口の約 4.6%となっている。国籍が 113 カ国 に渡っており、おそらくお子さん連れて我が国に入って来られる留学生が基本であるが、留学生 でも 88 カ国から来られている。マイクロンの大型投資が始まり、おそらくこれから数千人単位で 増加してくる可能性があり、そのうち 3 割の方はおそらく研究者やエンジニアといった高度人材。 さらに大学では、WPI(文部科学省の令和 4 年度世界トップレベル研究拠点プログラム)で海 外からの留学生を迎えられる。そうすると、外国人の方がこれからまだまだ増えてくる。</p> <p>よって、教育環境を整えていくことが大変重要だという認識を持っているところである。先程、 木原会頭からもご発言頂いたが、教育環境、外国の方も含めた子育て環境が十分であるか が、受け皿として大変重要になってくる。対外国人以外の市民に対する子育て・教育環境につ いては、我が市はしっかりやっているつもりであるが、外国の方に対する子育て・教育環境はま だ課題であり、インターナショナルスクールは重要課題の 1 つである。</p> <p>もう 1 つ充実していく必要があるのは医療環境。外国の方がアクセスしやすい医療環境をどう するかが課題であると思っており、この辺りについて、山田会長からご発言をお願いしたい。</p>
東広島 地区医師会 山田会長	<p>本日用意させてもらった資料の 2 番目に、次世代学園都市の実現に向けて本会で協力すべ き活動を具体的にまとめている。</p> <p>3 番目に書いているとおり、やはり一番良い方法は市民病院の設立である。東広島市からは、 医療センターに支援をして頂いており、これは本当にありがたいことであるが、今後の市の構 想を考えると、やはりベストチョイスとして市民病院の設立も考えていく必要がある。ただ、2030 年 開院予定の高度医療・人材派遣拠点があるので、なかなか共存するのは困難かもしれない。</p> <p>次に 4 番目であるが、次世代学園都市の住宅エリアには、やはり医療機関が必要だと思う。 資料には内科クリニックと書いているが、エリア内に健康管理センターを整備し、そこにクリニ ックを併設する。そこでは、医療面のケアばかりでなく、家庭医としての幅広い健康相談、健診、予 防接種などに広く対応できるようなものが望ましい。</p> <p>さらに詳細について、記載のとおり検討してみた。</p> <p>開設者は市または広島大学。管理者は院長で、院長は英語圏出身の医師である方、ある いは日本人であっても留学経験がある方、または、各学会での同時通訳団の活動経験がある方 が望ましい。同時通訳団というのは、脳神経外科学会総会では、学会内部で独自の同時通訳 団を組織しており、非常に厳しい試験を通して認定されるもので、年に 1・2 回泊まり掛けの研修 があり、そこで新たな教育も行われるなど、非常にレベル高く維持されていることから、わかりや すい目安の 1 つとして挙げたものである。</p>

	<p>設備としては、概ねそこに記載している内容で、概算で1億円以内かと思っている。 スタッフは記載内容のとおり。</p> <p>ランチとしては、母と子が健やかに暮らせるまちづくりへの支援をするようなパートも必要では。これは広島大学大学病院病院長の工藤先生に相談したところ、そのようなご意見をもらった。</p> <p>以上のようなことを考えているところであり、参考にさせていただければ幸いである。</p>
高垣市長	<p>Town&amp;Gown の中で、これまであまり医療機関の話はしていなかった。わが市は医療資源が他圏域に比べて少ないというのはかねてから言われており、県や国に対し要望もしているが、なかなかハードルが高い。市民病院を設立をすれば良いのかもしれないが、そうすると医療人材をどこから呼んでくるのかといった問題や、圏域の課題もある。また、広島県が新幹線北口に高度医療の拠点病院をつくとされており、このあたりの役割分担を考えて、医療の充実を図っていくことが課題である。そうした中、今、山田会長から Town&amp;Gown の中に、英語で対応できる医療機関の必要性を提案頂いたので、こうしたことを含めた検討をしていく必要がある。</p> <p>このあたりについて、越智学長から意見があればお願いしたい。</p>
広島大学 越智学長	<p>もしそのようなエリアができればベストだと私も思うが、人を雇ってということになると、どのくらいの患者さんがいらっしゃるのかということになる。私は医療センターに雇用した方が早いのではないかと思う。医療センターであれば、既に英語で全部対応でき、何人要るかは検討が必要だが、一人コアの先生がいて、その先生が帰られた後は英語が堪能な医師がサポートするという形とし、「医療センターに行けば何時から何時までは英語で対応できる先生が居ます」という発信をしておけば良いのでは。例えば東広島市でそうした先生の雇用に対する支援をして頂くなどを検討頂きたい。</p>
東広島 地区医師会 山田会長	<p>Town&amp;Gown の中に住宅エリアがあり、住環境を考えるうえでここに医療施設をつくと雰囲気非常に良いのではないかと、ということで提案させてもらった。</p>
高垣市長	<p>外国人に対する医療は、改めて大変重要な課題であり、コスト面も含め、今後検討していく必要がある。</p> <p>また、明石市との比較について、わが市は学園都市、産業都市という色彩も強いが、明石市はある意味神戸や大阪のベッドタウンであり、インフラも整備されていることから、財政的にも子育て施策への投資ができ得る環境がある。議会でも、明石市のようにできないのかといった話が出るが、わが市は、教育に非常に力を入れている。冒頭に越智学長より、もっと教育に投資を、という話があったが、それは正しいと思う。</p> <p>皆に認めてもらえるような取り組みは、地方の活力を生む源泉である。その実績をこれから我々を出していく必要があるが、その時に、民間企業の方と一緒に高いミッションを掲げながらやっていく必要がある。</p> <p>近畿大学との取り組みも広島国際大学との取り組みも、それぞれのミッションを明確にしながら、進めて行く必要がある。</p> <p>アリゾナ州立大学の良いと思ったところは、色々な人に話を聞いたが、必ず冒頭にチャーター（憲法）の話があり、「地域社会に貢献するのが大学である」というところから皆がスタートする。これはおそらくマイケルクローという方の強烈なリーダーシップの中、きっちりと研究者の方にも浸透されているという事だと思う。そういうものを持ちながら、高瀬さんがおっしゃった SX、そしてインパクトというものを目指していくことが必要だと思う。是非そういう形に発展するように、今日</p>

	<p>の意見交換をもとに取り組みを進めていきたい。</p> <p>本日の意見交換はこれで終わりたいと思うが、他にご要望等があればお話し頂きたい。</p>
広島大学 越智学長	<p>私からは、お礼を言いたい。東広島市さんにも、サタケさんにも、大学がやろうとしていることに理解頂き、ご支援を頂いているため、感謝したいと思う。</p> <p>このように、大学が取り組もうとしていることに、行政、企業、医師会等に支援して頂いており、大変ありがたいと思っている。</p>
近畿大学 工学部 荻原学部長	<p>先ほど、青年会議所の方から人手不足であるとかイノベーションを起こしたいというお話があったと思うのだが、広島大学様と同じように、近畿大学工学部では、産学官連携推進協力会という窓口を設けているので、ぜひ活用頂きたい。</p> <p>私も昔、東広島市にいらっしゃる会社の方々と話していると、そういう窓口があったの？とか、うちの大学の学生でも、東広島市にこんなに素晴らしい企業がたくさんあるのに、その存在を知らない。</p> <p>やはり大学が3つもあり、優秀な学生が東広島に毎年来るので、単なる通過点ではなく、東広島市に根づく企業への就職であるとか、あるいは東広島で起業するとか、そうしたプラットフォーム・繋ぎ合わせの場を提供する必要があるのでは。全国的な就職サイトの東広島版みたいなものがあると、3大学に通っている学生さんと東広島市の地場の企業とを繋ぎ合わせることができるのでは。また、気軽に参加できるインターンシップ、小・中学生の職場体験の大学生版みたいなものがあると、大学に通うためだけに東広島に来て、就職は別の場所にという方が、1%でも2%でもこの町にとどまってくると嬉しいし、市の発展にも繋がると思う。市においてプラットフォーム・接点作りみたいなものを企画していただけると大変ありがたいと思う。</p>
広島国際大学 清水学長	<p>さきほど「地域のために」という話があったが、国際大学の建学の理念の冒頭に、世のため、人のため、地域のため。という言葉がある。そのために、我々は専門職業人を養成しようとしている。</p> <p>その専門職業人を養成する中で、先ほど山田会長からの話にあった市民病院のような、安心して医療を受けられる機構が、医療センターのみならず、もう一箇所必要では。</p> <p>東広島市は安芸津から豊栄まで広域で、山間部にも居住されているが、そうした地域で急病になられた方は、どこに搬送されるのかと考えた場合、私どもの黒瀬であれば、呉市の労災病院や県立安芸津病院になるが、安芸津病院も人口減少を受けて縮小傾向である。</p> <p>そのためには、やはりその医療機関でペイできる必要があるため、それを支える人口、地域がしっかり発展していかなければいけない。</p> <p>広い市域全体を発展させるというのは非常に難しいと思うが、そこをなんとか皆さんのお知恵を借りて発展させて頂きたい。その時に私どももできる限りサポートしていきたい。</p>
東広島 商工会議所 木原会頭	<p>市に2点お願いしたい。</p> <p>我々は新卒も欲しいが、特に情報系は中途採用も必要。過去にマイクロンの大規模な人員削減があったが、人材の流動化の中で、市で人材の斡旋機能を持ってほしい。</p> <p>また、医療は一つの大きなまちの売りにもなるので、外国語を話せる医師を配置することは必要だと思う。</p>
東広島 地区医師会 山田会長	<p>昔、私の知人が、西条駅から広島大学まで路面電車を走らせたなら良いのではと話していた。確かに関係者にとって便利になると私も感心した。実際にはその形では実現しなかったのだが、先日市長の Facebook に自動運転バスの記事が掲載されており、これは本当に画期的なことであり、関係者のメリットも大きいと思うので、ぜひ進めてもらいたい。</p>

<p>東広島 青年会議所 佐渡直前 理事長</p>	<p>本日、理事長から、次の伝言を預かってきた。</p> <p>西条を中心に学園都市が形成されていくのは分かるのだが、安芸津の人間としては、なかなか自分たちが「学園都市東広島」に住んでいる実感がわからない状況がある。西条以外に住んでいる方もそういうものが感じられるもの、施設などがもっとできてほしい。とのこと。</p> <p>また、社会課題の解決を絡めた起業などをされている学生さんがすごく多く、本当に面白い。そうした学生さんを応援していくことで、東広島に住んでくれる方も増えると思うし、まち自体がもっと面白くなると思う。今回の構想・計画にも学生さんの意見もどんどん取り入れて行けたら、若い方が活躍できるまちになると思う。私たちも若手として応援していきたい。</p>
<p>高垣市長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>次世代学園都市に向けて、これからさらに進化させていこうと思っている中で、本日様々な意見を頂いたので、それを基に、2050年に向けて素晴らしいまちづくりを、皆さんと共につくっていきたいと思っているので、引き続きよろしくお願ひしたいと思う。</p>